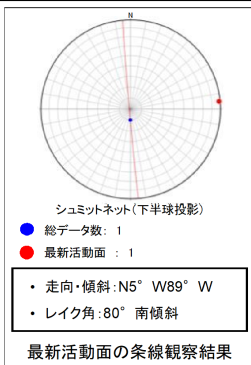


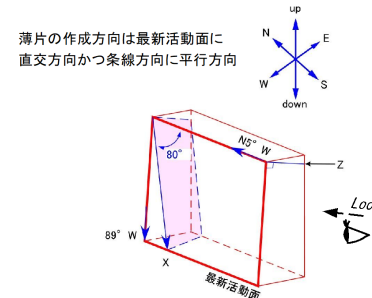
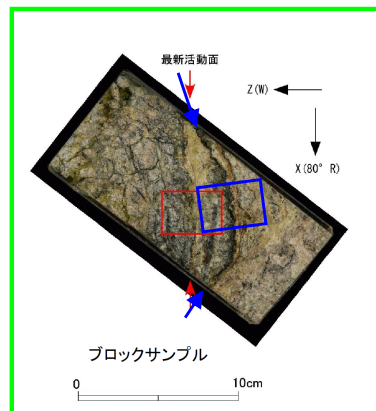
- ブロックサンプルに示していた最新活動面を示す赤矢印の位置を修正する。
- 薄片試料作製位置を示す赤枠の位置を修正する。(なお、薄片観察は、正しい最新活動面の位置で行われていた。)

K断層 薄片試料観察(H24-A-11 深度11.81m)

H24-A-11のボーリングコア(深度11.81m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、逆断層成分が卓越する。

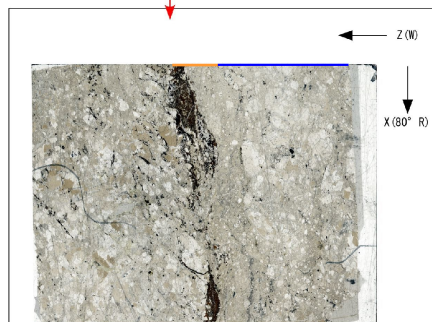


現記載: 赤矢印, 赤四角  
 修正後: 青矢印, 青四角

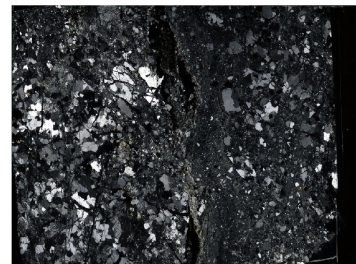


走向・傾斜 N5° W89° W  
 X: 条線方向(下向きを正とする)

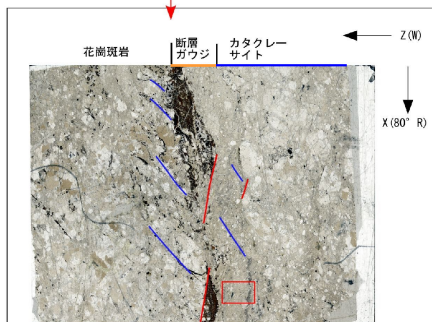
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



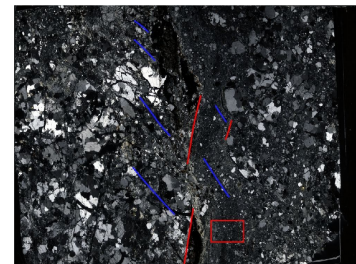
単ニコル



直交ニコル

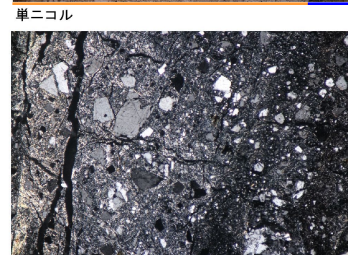
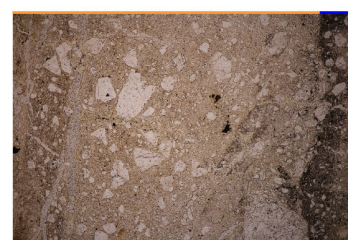


単ニコル



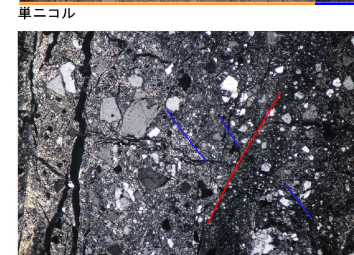
直交ニコル

赤枠内の拡大



直交ニコル

赤枠内の拡大



直交ニコル

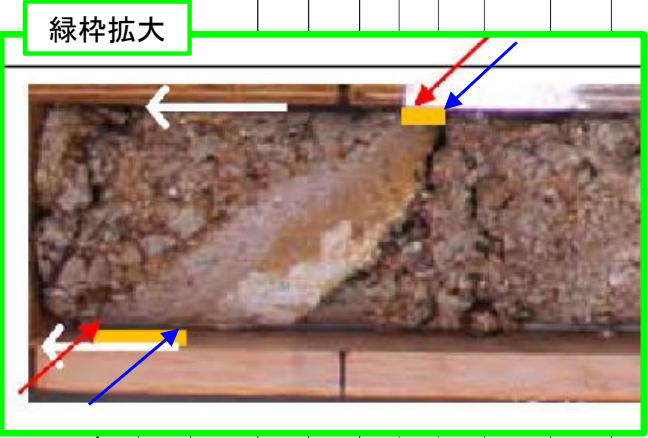
- 凡例
- 断層ガウジ
  - カタクレーサイト
  - R1面
  - P面

- 性状一覧表に掲載していたコア写真において, 最新活動面の位置を示す赤矢印の位置を修正する。

3. K断層

性状一覧表(9/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角縁の幅 (cm)	最新活動面・明瞭なせん断構造・変形構造	平滑さ	条線方向	変位センス		写真	
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)								鉛直	水平		
H24-H-4 (鉛直)		3.87		N48W	58W	-	-	-	-	90	-	-	3	
H24-H-5 (鉛直)		0.24		(未測定)	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
H27-F-5 (傾斜50°)		11.02	11.63	N12E	81W	49.1	1.0	有	非平滑	60L	-	-		



赤矢印: 現記載  
青矢印: 修正後

凡例

- : 最新活動面
- : 破砕幅
- : 断層ガウジ
- : 粘土の狭在物が認められる箇所
- \*1: 露頭
- \*2: 試掘坑

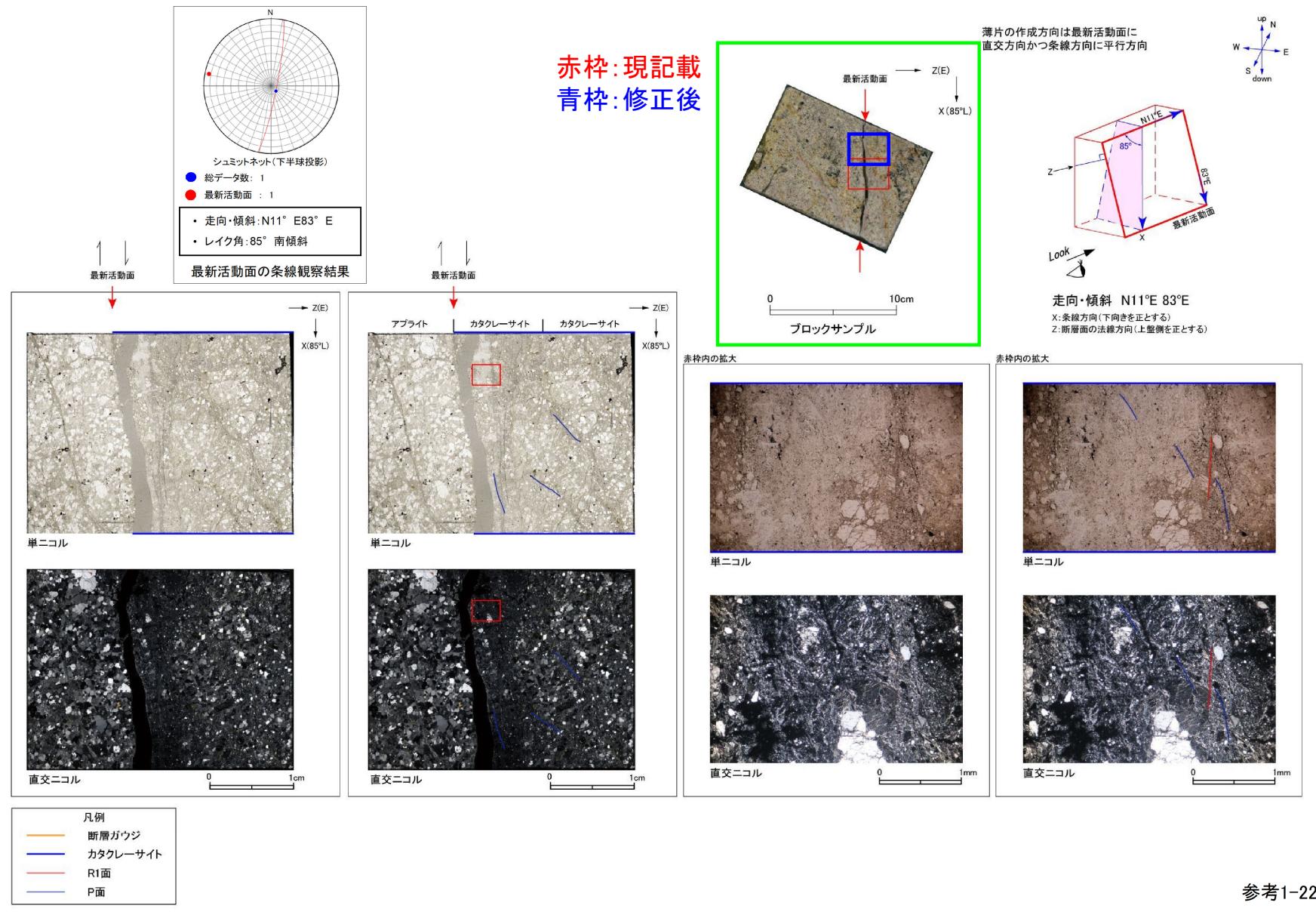
【破砕幅】  
粘土状破砕部、砂状破砕部、角礫状破砕部、  
固結した粘土状破砕部、固結した砂状破砕部、固結した角礫状破砕部  
の合計の幅とし、破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】  
平 滑 : 最新活動面が直線的なもの  
非平滑 : 最新活動面が湾曲するもの

- ブロックサンプルに示していた薄片試料作製位置を示す赤枠の位置を修正する。(なお、薄片試料は、正しい位置(青枠)で作製されていた。)

### 非モデル化破碎部 薄片試料観察(H24-D1-1 深度93.20m)

H24-D1-1のボーリングコア(深度93.20m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、正断層成分が卓越する。

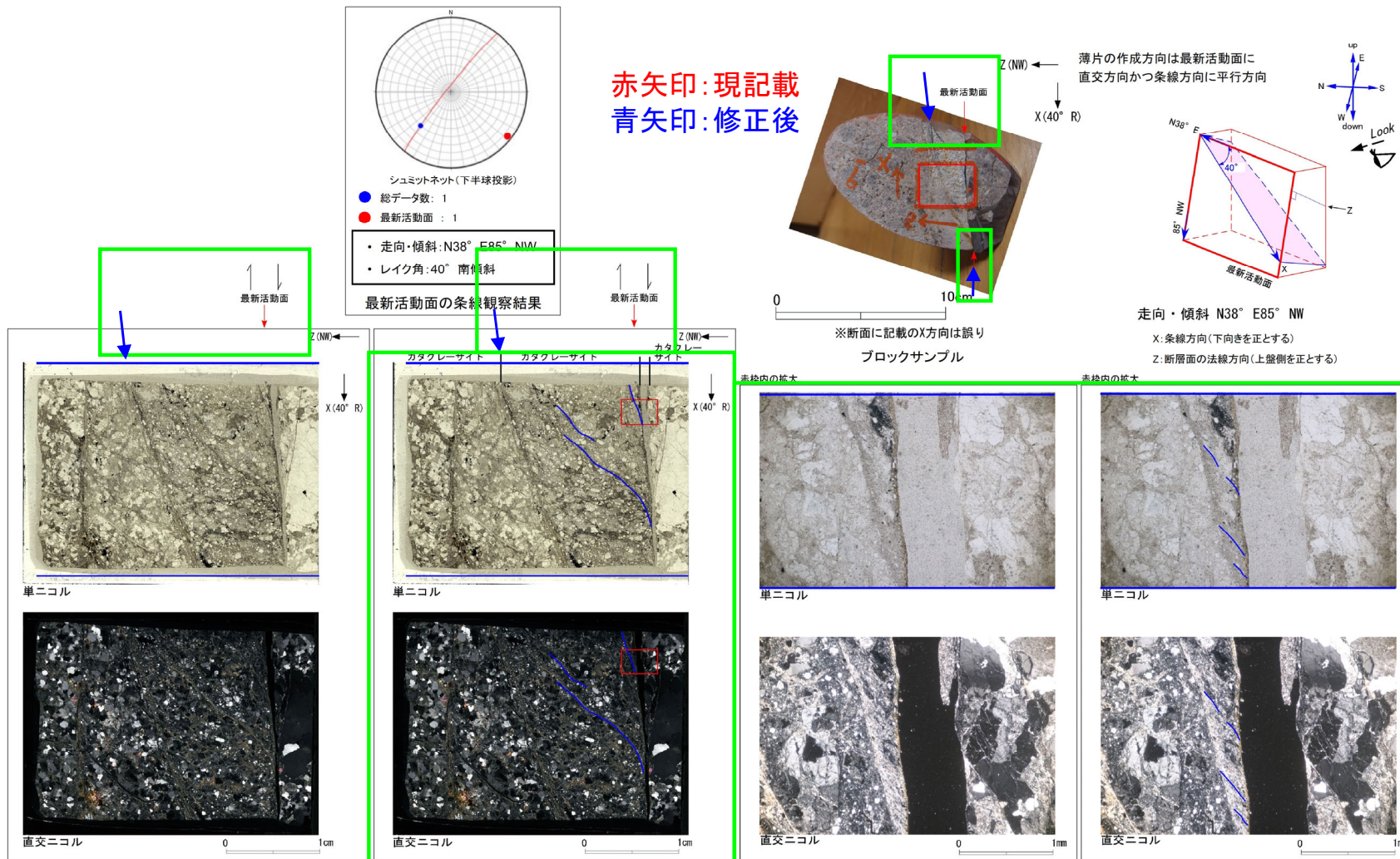




- ブロックサンプルにおいて, 最新活動面を示す赤矢印と, 薄片写真に表示していた最新活動面を示す赤矢印の位置を修正する。
- 薄片試料は正しい最新活動面の位置を含んで作製されていることから, 最新活動面沿いを再観察し, 観察結果を審査資料に反映する。

### 非モデル化破碎帯 薄片試料観察(H24-B14-2 深度47.40m)

H24-B14-2のボーリングコア(深度47.40m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは, 右ずれを伴う逆断層である。



- 凡例
- 断層ガウジ
  - カタクレーサイト
  - R1面
  - P面

## 5. 今後の説明スケジュール

本件事象に係る不適合管理(15頁の対策③を除く)については、3月下旬を目途に取り組んでいる。

第1113回審査会合にて提示した説明スケジュール(3月中旬頃の資料提出)については見直しを行うこととし、不適合管理の進捗を踏まえて提示させていただきたい。

確認対象の調査位置(K断層の南方延長にある10孔のボーリング調査)  
(第1099回審査会合資料1-2抜粋)

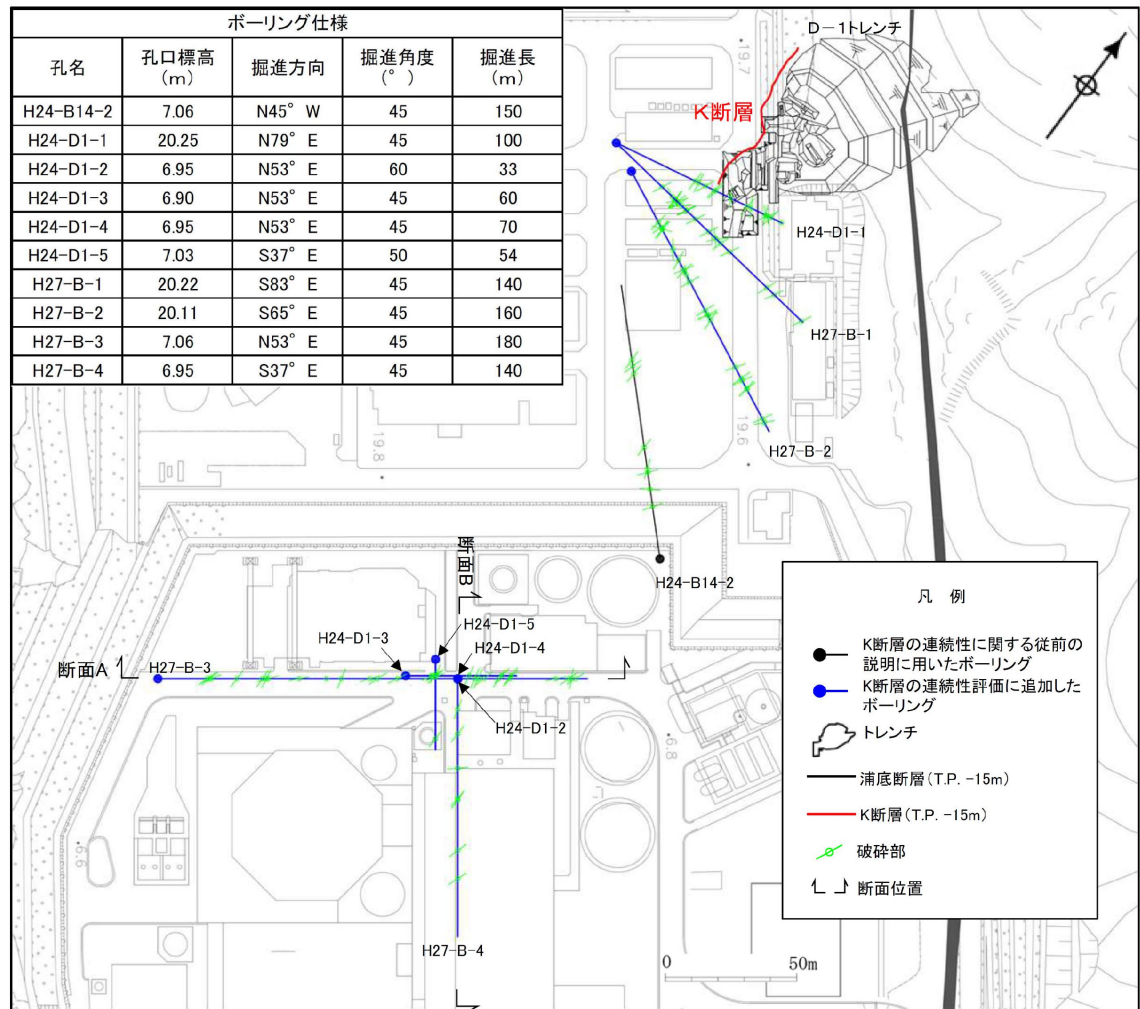


図1 K断層の南方延長への連続性評価のためのボーリング調査(計10孔)位置図

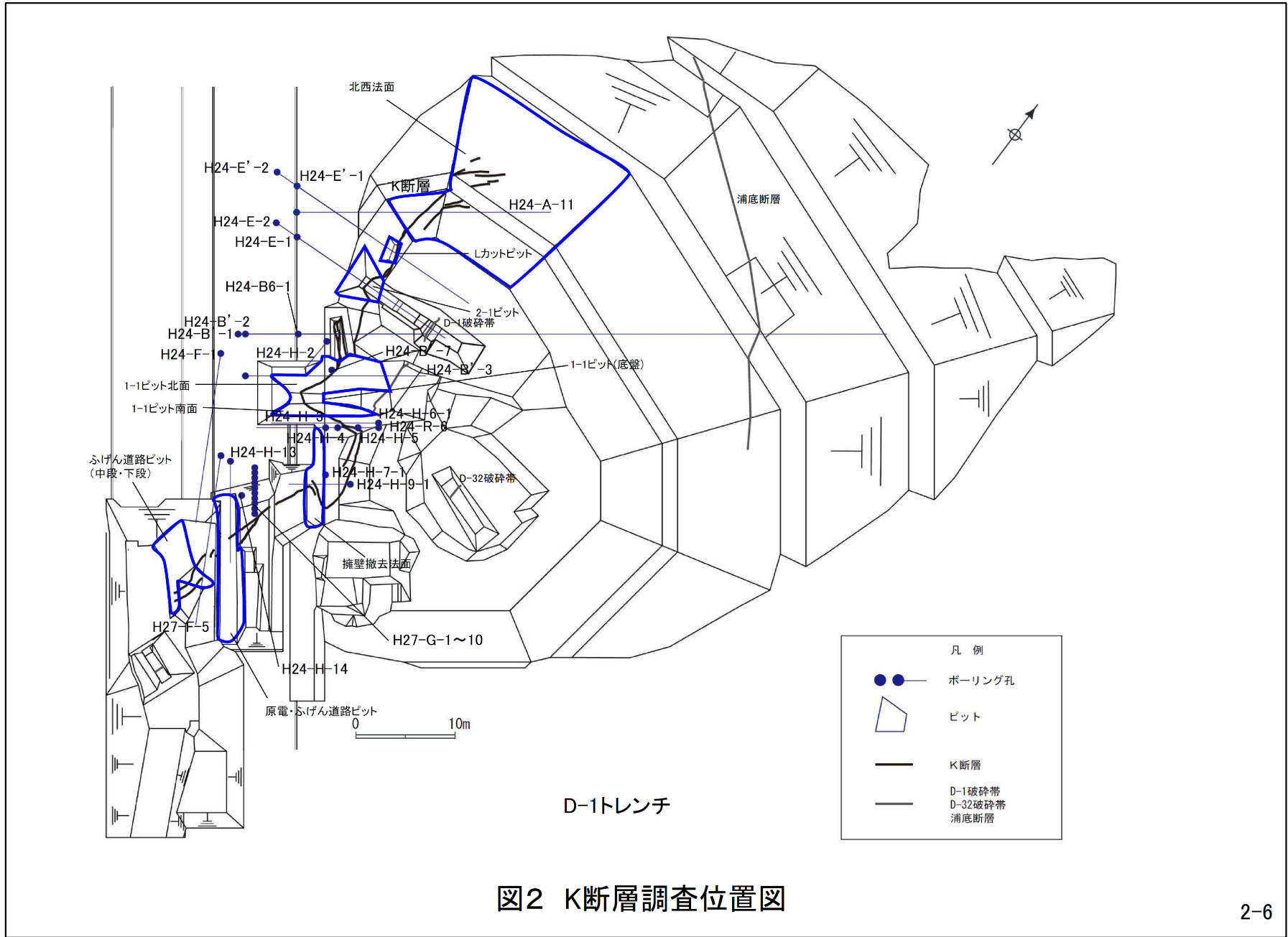


図2 K断層調査位置図



(青枠, 青字, 赤字吹き出し加筆)

第1099回審査会合 資料1-4に追記(赤枠, 赤字)

トレーサビリティの確保に伴う修正箇所一覧表

No.	対象破砕部			誤った記載の資料		修正の内容		エビデンス資料	記載頁	修正理由
	確認箇所	上端深度	下端深度	性状一覧表 (第833回審査会 合資料 机上配 布資料2)	薄片観察結果 (第833回審査会 合資料 机上配 布資料1)	修正前	修正後			
39	H27-B-1	52.72	52.81	●	●	走向・傾斜 N15E82E	走向・傾斜 N27E43W	走向・傾斜確認結果	4 - 61	最新活動面の走向・傾斜が誤りで、これに基づく条線も誤っており、条線が低角から正しい高角になることに伴い、薄片観察による変位センサが修正となる(薄片試料の作製位置は正しかった)。
40	H27-B-1	52.72	52.81	●	●	条線 10R	条線 72R	条線観察結果	4 - 62	
41	H27-B-1	52.72	52.81	●	●	左ずれセンサ	逆断層センサ	薄片観察結果	4 - 63	
42	H27-B-1	53.17	53.22		●	全景写真の記載 花崗斑岩	全景写真の記載 カタクレーサイト	薄片観察結果	4 - 65	資料作成時に観察事実が正しく反映されていなかった。
43	H27-B-1	59.82	59.85	●	●	走向・傾斜 N26° E80° W	走向・傾斜 N20° E75° W	走向・傾斜確認結果	4 - 67	資料作成時に観察事実が正しく反映されていなかった。 なお、条線の取得及び薄片作製は正しいデータを基に行われており、薄片観察結果にも影響はない。
44	H27-B-1	69.70	69.73		●	全景写真の記載 花崗斑岩	全景写真の記載 カタクレーサイト	薄片観察結果	4 - 68	資料作成時に観察事実が正しく反映されていなかった。
45	H27-B-1	74.36	74.50	●	●	走向・傾斜 N15E85W	走向・傾斜 N41W66W	走向・傾斜確認結果	4 - 71	最新活動面の走向・傾斜の判読にて誤りが生じ、誤った走向・傾斜に基づく条線も誤っており、条線が高角から正しい中角になることに伴い、薄片観察による変位センサが修正となる(薄片試料の作製位置は正しかった)。
46	H27-B-1	74.36	74.50	●	●	条線 70L	条線 52R	条線観察結果	4 - 74	
47	H27-B-1	74.36	74.50	●	●	正断層センサ	左ずれ正断層センサ	薄片観察結果	4 - 75	
48	H27-B-1	75.57	76.00	●	●	走向・傾斜 N34E87NW	走向・傾斜 N44E72E	走向・傾斜確認結果	4 - 77	孔壁崩壊の影響でBHTVによる最新活動面の走向・傾斜の判読ができない箇所、代用値を採用していたが、より確からしい代用値に修正した。これに伴い、条線と薄片観察による変位センサも修正となる(薄片試料の作製位置に問題はない)。以上に伴い、f-d1-1-11破砕帯に連続する破砕部と評価した。
49	H27-B-1	75.57	76.00	●	●	条線 90	条線 88R	条線観察結果	4 - 80	
50	H27-B-1	75.57	76.00	●	●	逆断層センサ	正断層センサ	薄片観察結果	4 - 81	
51	H27-B-1	75.57	76.00	●	●	破砕帯名 非モデル化	破砕帯名 f-d1-1-11	No.157に合わせて示す。	4 - 296	
52	H27-B-1	85.38	85.41		●	全景写真の記載 アブライト	全景写真の記載 花崗斑岩	ボーリング柱状図 コア写真	3 - 8-45	資料作成時に観察事実が正しく反映されていなかった。
53	H27-B-1	113.51	113.60	●	●	最新活動面の深度 113.56m	最新活動面の深度 113.60m	最新活動面確認結果	4 - 84	CT画像により決定した最新活動面の位置が反映されていなかった。走向・傾斜、条線観察、薄片作製はいずれも113.60mの正しい最新活動面の位置で実施しており、薄片観察自体に問題はなかった。
54	H27-B-1	113.51	113.60	●	●	断層ガウジの幅 0.2cm	断層ガウジの幅 0.1cm	断層ガウジ・断層角礫の幅計 測結果	4 - 85	断層ガウジの幅は、今回の再確認により、正しいものとした。
55	H27-B-1	118.94	119.12	●	●	最新活動面の深度 119.10m	最新活動面の深度 119.12m	最新活動面確認結果	4 - 86	資料作成時に観察事実が正しく反映されていなかった。 なお、走向・傾斜、条線の取得及び薄片試料の作製は正しい位置で行われており、観察結果に影響はない。
56	H27-B-1	118.94	119.12		●	全景写真の記載 アブライト	全景写真の記載 花崗斑岩	ボーリング柱状図 コア写真	3 - 8-51	資料作成時に観察事実が正しく反映されていなかった。
57	H27-B-1	139.82	139.88		●	全景写真の記載 アブライト	全景写真の記載 花崗斑岩	ボーリング柱状図 コア写真	3 - 8-55	資料作成時に観察事実が正しく反映されていなかった。
58	H27-B-2	35.36	35.46		●	X、Z方向の記載誤り		薄片観察結果	4 - 87	作業時に正しい情報が反映されていなかった。 なお、X方向、Z方向ともに記載を誤っているため、結果的に薄片観察結果(変位センサ等)に影響はない。
59	H27-B-2	35.36	35.46	●		最新活動面の矢印の位置を修正する		最新活動面確認結果	4 - 89	資料作成時に観察事実が正しく反映されていなかった。

本件事象箇所(青枠)は、第1113回審査会合で資料修正方針を提示した例示16項目には含まれていない。

第1113回審査会合で資料修正方針を提示した例示箇所は赤枠で明示している。(本頁は16項目のうちの4項目)

今回例示箇所

# これまでに薄片試料の再作製・観察を実施している箇所 (第1099回審査会合資料1-4抜粋)

参考資料

(赤線を加筆)

トレーサビリティの確保に伴う修正箇所一覧表

No.	対象破砕部			誤った記載の資料		修正の内容		エビデンス資料	記載頁	修正理由
	確認箇所	上端深度	下端深度	性状一覧表 (第833回審査会 合資料 机上配 布資料2)	薄片観察結果 (第833回審査会 合資料 机上配 布資料1)	修正前	修正後			
2	H24-E-2	13.23	15.82	●	●	最新活動面 13.42m	最新活動面 13.46m	最新活動面確認結果	4 - 16	最新活動面の記載に誤りがあり、これに基づく走向・傾斜、条線も誤っていた。当該部の薄片試料については、作製時点で正しい位置(最新活動面13.46m)であったが、 <u>試料の切断方向が誤っていた(誤:断層面と直交する方向から60°斜交→正:断層面と直交方向)ことから、薄片試料を再作製し、薄片観察を行った(作業時に正しい情報が反映されていなかった。)</u> 。再作製した薄片観察による変位センス(右ずれを伴う逆断層)、断層岩区分の評価(断層ガウジ)に変更はなし。
3	H24-E-2	13.23	15.82	●	●	走向・傾斜 N21W60W	走向・傾斜 N33W60SW	走向・傾斜確認結果	4 - 17	
4	H24-E-2	13.23	15.82	●	●	条線 60R	条線 53R	条線観察結果	4 - 18	
5	H24-E-2	13.23	15.82		●	<u>薄片試料を再作製して観察</u>		薄片観察結果	4 - 19	
26	H24-D1-1	91.26	91.52		●	<u>薄片試料を再作製して観察</u>		薄片観察結果	4 - 43	
32	H27-B-1	42.41	42.49	●	●	最新活動面の深度 42.43m	最新活動面の深度 42.41m	最新活動面確認結果	4 - 51	CT画像により決定した最新活動面の位置が反映されていなかった。これに伴い、条線も誤った位置で読み取りが行われていた。走向・傾斜は正しい位置で判読されていた(今回表記ルールは変更)。 <u>正しい最新活動面での薄片試料を再作製し、薄片観察を行った。</u> 旧試料のときから条線が修正となっているので、変位センスは右ずれ卓越(旧試料では右ずれを伴う正断層)となり、断層岩区分の評価に変更はなかった(断層ガウジ)。
33	H27-B-1	42.41	42.49	●	●	条線 45L	条線 14R	条線観察結果	4 - 52	
34	H27-B-1	42.41	42.49	●	●	走向・傾斜 N65W36NE	走向・傾斜 N65W36N	走向・傾斜確認結果	4 - 53	
35	H27-B-1	42.41	42.49	●	●	右ずれ正断層センス	右ずれセンス	薄片観察結果	4 - 54	
69	H27-B-2	85.58	85.76	●	●	走向・傾斜 N15E82W	走向・傾斜 N20E89E	走向・傾斜確認結果	4 - 106	
70	H27-B-2	85.58	85.76	●	●	条線 60L	条線 15L	条線観察結果	4 - 107	最新活動面の認定は正しく行われたが、走向・傾斜の判読時に誤った位置の走向・傾斜を採用してしまい、条線観察、薄片作製もこの誤った位置で行われたことから、 <u>薄片試料を再作製し、薄片観察を行った。</u> 再作製した薄片観察による変位センスは右ずれ(旧試料では右ずれ正断層)となり、断層岩区分の評価に変更はなかった(カタクレサイト)。
71	H27-B-2	85.58	85.76	●	●	右ずれ正断層センス	右ずれセンス	薄片観察結果	4 - 108	
72	H27-B-2	88.38	88.43	●	●	最新活動面の深度 88.43m	最新活動面の深度 88.42m	最新活動面確認結果	4 - 110	資料作成時に観察事実が正しく反映されていなかった。
73	H27-B-2	88.38	88.43	●	●	<u>薄片試料を再作製して観察</u>		薄片観察結果	4 - 111	走向・傾斜、条線の取得は正しく行われていたが、薄片試料作製時に条線方向に平行になるように作製できていなかった。再作製した薄片観察による変位センス(右ずれ正断層)、断層岩区分の評価(断層ガウジ)に変更はなし。